イノシシに出会った時は…

①近づかない

ほとんどの場合はしばらくすると自然と山に帰っていきます。
犬などを連れていると、敵と判断して攻撃しえくることがあるので、十分に注意してください。

②ゆっくり後退し、静かに立ち去る

立ち去ることが難しいときは、安全な場所でイノシシが立ち去るまでやり過ごしてください。
安全な場所から、音を立てるなどして、人がいることを知らせましょう。

③威嚇したり、驚かせたりしない

むやみに興奮させると危険です。

イノシシが物陰などにいる場合があります。
びっくりさせて突発的な事故を防ぐため、
イノシシの出没のおそれがある場所では、特に夜に出歩くときは、
音や光でこちらの気配を知らせるようにしましょう。

どうして被害がなくならない？

主に、住宅地に隣接する山沿いで **イノシシを捕獲** しています。

	H30	R1	R2	R3
門司区	383	476	570	515

	H30	R1	R2	R3
足立山（小倉北南区）	129	166	139	84

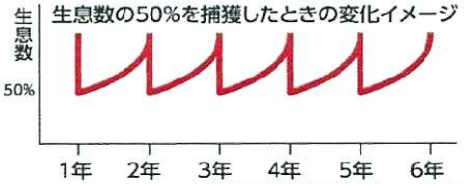
これだけ捕獲しても
イノシシによる被害は無くなりません。

なぜか？

それは…イノシシが
とても**繁殖能力が高い**動物だからです。

- 早い性成熟
- 高い妊娠率
- 多い産子数
- 基本的に年1産
- 1歳までに約50%が死亡

捕獲しても次の年には元の数に戻ってしまいます。



農林水産省「野生鳥獣被害防止マニュアル」参照

捕獲するだけでは、**根本的な解決にはなりません。**

だから

イノシシを**近づけない工夫**をし、
イノシシと**上手に付き合っていく**
ことが大切です。

中面にヒントを記載しています。

イノシシの出没情報やご相談は・・・

◆門司区役所　総務企画課　広報広聴係　☎ 331－0039
◆小倉北区役所　総務企画課　広報広聴係　☎ 582－3339
◆東部農政事務所　農産係　☎ 951－1020

イノシシを呼び寄せない環境づくりが大切です。

地域のみなさんで力を合わせ、イノシシが近づきにくい環境をつくりましょう!!

❶餌付けをやめよう！

イノシシが街なかに出てくる最大の目的はエサです。
食べ物のない場所はイノシシにとって魅力がありません。

「故意の餌付け」だけでなく、
「知らないうちに行っている餌付け」に注意

●エサを与えない

・人慣れしてしまい、頻繁に出没するようになる。
・予想もしていない動きでケガをさせられる可能性がある。

●犬やネコのエサを正しく管理

・片付けまで責任をもって行う。
・エサを放置しない。

●家庭菜園の管理

・柵などを仮設し、侵入を防ぐ。

●ゴミ出しマナーの徹底

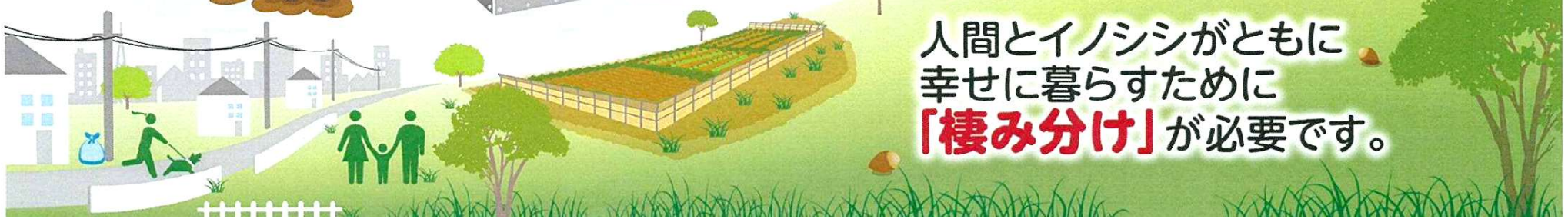
・袋の口をきちんと結ぶ
・ゴミ出しの時間を守る
・柵の利用や金属製のゴミ箱の利用も効果的。

❷イノシシの隠れ場所をなくそう！

・地域の皆さんで協力し、草刈りや清掃を行う。

❸イノシシの侵入を防ごう！

・イノシシの侵入路や自宅の侵入してほしくない場所に、柵やトタン、ネットなどを設置。



人間とイノシシがともに
幸せに暮らすために
「棲み分け」が必要です。